

所属	社会福祉学部	職名	教授	氏名	斉藤 くるみ	大学院の授業担当の有無	(有・無)
授業科目							
社会福祉学部	英語B5、英語B14、英語B17、人間の知性と感性I(教養基礎演習/手話から言語学へ)、人間の知性と感性の認識IV(ことばと脳/聴覚障害児の心理)、人間の知性と感性(ろう文化/聴覚障害教育特講)、障害児の心理・生理・病理、障害児教育課程論・障害児教育指導論、国際社会福祉論、専門演習、卒論指導						
専門職大学院							
大学院博士前期	専門英語I、専門英語II、社会福祉学研究演習Ia, Ib, II, III, IV						
大学院博士後期	社会福祉学専門研究演習Ia, b, c, II, III, IV, V, VI						
通信教育科							
教育活動							
教育実践上の主な業績		年月日	概 要				
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		2010～	<p>「英語」(福祉の英語、動物と福祉をテーマとする英語、TOEIC対策)では毎回のテストを一目で見られる学生ひとりひとりのカルテを作成し毎回やりとりした。</p> <p>「教養基礎演習」「ことばと脳」「ろう文化」では手話研究から学際的な視点を示し、かつ語学としての「日本手話」の授業との関連を重視した。「ろう文化」ではイギリスで発祥した障害学の考え方や言語文化論的アプローチを示し、かつ語学としての「日本手話」の授業との関連を重視した。</p> <p>国際社会福祉論につながる英語教材を利用した科目を設置した。そして国際福祉論、アジア実地研修に結び付けた。</p>				
2 作成した教科書、教材、参考書							
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		2010～	認知科学的実験を行い、認知科学とコミュニケーションの関係を解き明かし、福祉教育に活かす方法を発表した。				
脳科学を福祉教育に活かす～コミュニケーション能力を高める授業を目指して(『日本社会事業大学研究紀要』57)		2011～	日本手話を中心にした大学教育の実践と新しいカリキュラムの開発。				
大学における日本手話の意義～リベラルアーツ教育・アイデンティティ教育からキャリア教育へ		2015～	聴覚障がいをもつ学生のライティングのエラー分析からレメディアル教材を作った。				
聴覚障害者のスキルアップ・ステップアップのための書記日本語教育法およびマニュアルの開発～エラー分析を中心に							
4 その他教育活動上特記すべき事項		2010～	<p>全員ろう者である研究者による日本手話による教養科目をコーディネートした。</p> <p>聴覚障害をもつ学生の支援技術を指導する「情報保障」という科目を新設。</p> <p>学内の聴覚障害をもつ学生に100%の情報保障を提供した(日本財団助成)。</p> <p>本学の学生を含むろう・難聴の大学生を対象にレポート・論文の書き方を教えるライティングサポート・プログラム。</p> <p>ろう学生を交えたスマトラ沖地震最大の被災地バンダアチェでの研修、仙台での国連災害国際会議で、障がい者の防災対策会議、タイのろう協・HIV孤児施設・老人大学等、ベトナムのろう学校・児童養護施設等の研修、ネパールの大地震被災地の障害児学校・施設、ろう学校にろう学生を含む本学の学生を引率した。</p>				
日本手話による教養科目の設置							
科目「情報保障」の設置							
100%の情報保障							
ろう・難聴の大学生のためのライティングサポート							
アジア研修旅行、国連災害世界会議への引率							
研究活動							
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数		
< 著書・編著書 >							
『手話による教養大学～ろう者が教えるろう者が学ぶ』	共著	2017	ミネルヴァ書房	斉藤くるみ			
< 研究論文・研究ノート >							
『大学教育における『日本手話』～『手話による教養大学』と『日本手話による学位論文』	単著	2017.10	『ことばと社会』19		244 - 250		
< 調査・研究報告書 >							
『ネパールの大地震被災地における身体障がい者の避難生活支援の実態調査』	共著	2017	『日本社会事業大学研究紀要』64	斉藤くるみ(研究代表者) 西田昌之	97 - 113		
< 翻訳 >							
< その他の執筆活動 >							

「今、大学で～聴覚障害学生のサポート～ 日本社会事業大学の巻」	単著	2018.2	『聴覚障害』72		72-75
学会等および社会における主な活動					
< 学会報告 >					
日本社会事業大学社会福祉学会	「アジアの災害被災地と障がい者～学生のアクティブラーニングを通して」				
< 講演活動 >					
< 所属学会 >					
International Society of Anglo-Saxon 日本手話学会 社会言語科学学会 大学教育学会 日本顔学会 多言語社会研究会 中世英語英文学会 障害学会 日本英語学会 日本社会福祉学会	コミュニケーションと認知科学の関係 手話研究(手話と大学教育の関係等) 言語と視線の認知的研究				
< 社会的活動 >					
「大学へ行こう」	聴覚障害をもつ高校生の進学率をあげるべく、大学受験の指導を行った(日本財団助成)				
e-ポートフォリオを利用した聴覚障害をもつ 高校生の進学支援	ウェブ上で、ろう難聴の高校生・教師・ソーシャルワーカー・情報保障支援者・ボランティアを結び学 習支援を行った。http://www.ouchide-yobikou.net/(三菱財団助成)				
『学校だけではわからないーコミュニケーシ ョンスキルアップハンドブック』	聴覚障害者の書記日本語の特徴を利用した、日本語教育マニュアルの開発(みずほ財団助成/社 会福祉学校連盟推薦)				
日本手話学会	副会長				
Pep-Net Japan	運営委員				